

秋



六甲山大学開校記念式典



山ガールハイキング



六甲山地図読み歩き



アウトドア・フェスタ

六甲山大学 1年の歩み



六甲山大学
ROKURO-SAN DAIGAKU

六甲山系にまつわるイベントなどを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」が、10月で1周年を迎えます。この間、実施した「授業」は約640件。登山やハイキング、伝統行事、自然観察など、知られざる山の魅力を伝えてきました。その足跡を写真で振り返ります。

2013年	2012年
1月 2013歩き初め。ホールアイス自然学校のガイドによる雪の森散策	10月 六甲山記念碑台で開校式。約180人が参加
2月 六甲高山植物園の冬季特別開園	11月 自主授業「ミントサロン」開始
3月 摩耶詣祭。六甲山牧場から馬を招き、安全を祈る	12月 六甲オルゴールミュージアムでクリスマス演奏会
4月 リュックサックマーケットが13年度の初回。アウトドア行事が本格始動	
5月 神戸・六甲山ツアーウォーク。約2000人が参加	
6月 ミントサロン緑月間「MIDORI塾」。県立人と自然の博物館八木剛氏が講演	
7月 六甲山牧場で石窯ヒザ作り体験	
8月 森林植物園で親子森林浴ヨガ	
9月 自然の家でカヌー・アーチェリー	



森林浴ヨガ



羊の毛刈り見学ウィーク



スキースクール



六甲山水の祭典

冬



摩耶詣祭



とんどやき



七曲滝の水瀑



冬のわくわくキャンプ

春



オープンハートそうめん流し

夏



夏休みイベント「生田川を探ろう」



ノルディックウォーキング



四万六千日大祭

1年間の授業640件 六甲・摩耶山系の観光客増加

六甲山大学は、六甲山系とその山麓をキャンパスに見立て、既存のイベントなどを「授業」として、専用ホームページなどで広く情報発信してきた。この1年間で実施した「授業」は約640件に上り、当初予想をはるかに上回った。

イベントの実施団体であり、情報を提供した団体は約40。山上のレジャー施設、大学、行政機関、NPOや個人など幅広い。内容も多岐にわたる。例えば「高取山投輪大会。かつて神戸港に停泊した外国船上で楽しまれたのが発祥とされるスポーツで、意外と知られていなかった。紙面などで紹介されたことで、新たな人気を呼んだ。このほか、摩耶山上の天守寺で開かれる密教の坐禅会、洋服を持ち寄って交換する「エクステンジKOBEN」など、登山だけではなく魅力がたつぷり。

発信する媒体も、随時更新される専用ホームページ、毎月1万枚発行するチラシ、神戸新聞の紙面など多岐にわたった。

神戸市の調査によると、2012年の六甲・摩耶山系の観光入込客数は214万人で、前年比17%増となった。

きめ細かな情報発信によって、六甲山を身近に感じた市民が増えたことは間違いないだろう。

ミントサロン好評 多彩な講師が人気けん引

神戸・三宮のミント神戸を会場に六甲山のさまざまな楽しみ方を紹介する「ミントサロン」。月1回のペースで開かれ、今年9月までの計10回で、延べ約500人が参加した。夕方からの開催のため、仕事帰りの会社員や若い女性グループの参加も目立つ。講演後、ワインとチーズを味わいながらの交流会も人気に火がついている。

しかし、最大の魅力は多岐にわたる講師陣。初回のフリーライターの根岸真理さんをはじめ、天守寺副住持伊藤浄真さん、最近では神戸市立森林植物園の2人の女性技術職員。さまざまなジャンルの専門家が豊富な体験や山への思いを熱く語った。定員を大幅に超える申し込みが殺到するなど、すっかり人気定着した感がある。

第1回ミントサロン(11月)